

令和 6 年度事業計画書 <グループホーム白楽荘みくにの里>

テーマ：ICT導入による職員育成と働きやすい職場作りをめざした効果的な利用者支援

サブテーマ：科学的介護（LIFE）活用により、自立支援・重度化防止を重視した質の高いサービスの推進

1. 人としての尊厳を守り、入居者への安心・安全・快適な暮らしを提供

- ①理念・方針に添ったケアを実践。利用者の価値観・生活習慣を尊重した安心ある生活を支援する
- ②夜勤者への業務負担をを図る目的で、インターネット回線を充実させて重度行動障害の利用者を限定し居室に見守り感圧センサー設置を導入。夜間巡視の負担軽減と利用者の安全配慮を確保する
- ③共同生活を送る認知症高齢者の特性を理解し、心理・行動症状(BPSD)の要因・分析・対処手段を随時チーム会議で共有し、利用者に対し、より良い暮らしになるよう検討・解決策を導いていく
- ④みくにの森クリニックや協力医療機関との連携強化、健康管理・身体機能維持や精神面の安定を図る

2. 緊急時の対応、感染症の対策、自然災害の備えなど、チーム全員が命を守る行動が出来る

- ①緊急時訓練・避難誘導訓練など年間計画で定期的に実施する
- ②急変時、感染症への知識・対応力をチーム全員が向上できるよう勉強会を行う
- ③防災・減災に対して事業所独自での備品管理（平時から非常時照明を使用して災害に備える）

3. 共生社会の一員として健全に職務従事するため、職員の資質向上を目指す

- ①チーム職員のストレスケアを図るため、業務見直し・改善や有給休暇取得、随時で対話や面談を行い介護人材の維持・安定を行う
- ②個々が自己研鑽に励み、研修参加・資格取得を実行して、知識・技術・認知症ケアの専門性を高め自己成長が出来る職場の雰囲気とチーム内の信頼関係を作る